

公益財団法人日米医学医療交流財団 留学助成

研修報告書 (2024年度 助成者)

作成日 2024年 8月 10日

氏名 (フリガナ)	納谷くるみ (ナヤクルミ)
研修先機関名	Hawaii Tokai International College
研修期間	2024年8月5日 (月) ~ 8月10日 (土)
大学名	Fukushima Medical University
学年	6年

研修概要

日米医学医療交流財団の助成を受け、医学部夏期集中医学英語研修に参加させていただきました。Hawaii Tokai International College、John A. Burns School of Medicine、St. Luke's Clinicにて研修を行いました。この研修では、英語でのPBL、医療面接、ケースプレゼンテーションを実践したり、ハワイで活躍している医師や医学生との交流を行いました。

主な研修内容

研修の中心は、ケースプレゼンテーションでした。事前にいただいた資料に加えて、朝のDr. Shonによる講義により、その後のPBLや医療面接やケースプレゼンテーションに必要な知識を得ました。

1. PBL

HTICで、先生方が見守る中でグループのメンバーと協力してPBLを行いました。学生が主体でありながら先生方からの確かな助言をいただける、理想的なPBLでした。JABSOMでは、JABSOMの学生とともにPBLを行いました。JABSOMの学生は、大学で講義中心ではなくPBLを中心として医学を学んでおり、日本との違いを感じました。

2. 医療面接とケースプレゼンテーション

HTICで、学生同士で医師役と患者役を交代しながら模擬医療面接をした後、先生方にプレゼンを行いました。何度も練習することで、少しずつ慣れていきました。問診の順番は今まであまり意識していませんでしたが、プレゼンの流れを意識して患者役に質問するようになりました。JABSOMでは、JABSOMの学生に患者役をしていただき医療面接を行い、先生方にプレゼンを行いました。プレゼン後は、フィードバックをいただき、良い評価をいただいた点について自信を持つことができ、克服すべき課題も見えてきました。

3. スペシャルレクチャー

ハワイで活躍する先生方から、ご自身の経験、仕事内容、日米の違い、USMLEやアメリカで働くための具体的なアドバイスなどの貴重なお話を伺いました。レクチャー後の質問やFarewell Receptionなどでも親身に相談に乗っていただきました。

4. JABSOMでの交流

キャンパスツアー、PBLや医療面接の合間、Farewell ReceptionでJABSOMの学生と交流しました。症例について以外に大学のカリキュラム、学生生活、進路についてお互いに話したり、ハワイの医療などについて教えていただいたりしました。

まとめ

素敵な先生方や学生に囲まれて、ケースプレゼンテーションを集中的に学べる大変充実した研修でした。また、アメリカで通用する医師になるために必要なことを知ることができました。学んだことを生かして、さらなる成長の糧にしていきたいと思います。他にはない貴重な研修に参加させていただき、ご尽力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。